

お金で進路は
決めたくない!

全国トップクラス

私立で自分らしさを
見つけよう!

岐阜県の私立高校授業料の

無償化支援を知ろう!

高校へ行くなら
私立!

私立高校生への 就学支援制度

高校は、子どもが夢に向かって成長する上で大切な期間。公立・私立を問わず、行きたい学校に進んでほしいと思うのが親心ですが、先立つものの不安から私立高校への進学を躊躇してしまう家族も少なくありません。そんな家族を支えるため、高等学校等就学支援制度が更に充実し、子どもたちの進路の選択肢が広がりました。

1 私立高校生への授業料支援

私立高校に通う生徒には、家計所得に応じて授業料が補助されます。

高等学校就学支援金（国の制度）

世帯の年収910万円未満は **118,800円補助**
ただし、年収590万円未満は **396,000円補助**

※通信制高校で単位毎に授業料が決まっている場合は、1単位当たりで支給されます。

高等学校等授業料軽減補助金（県の制度）

世帯の年収590万円以上910万円未満は **237,600円補助**

※通信制高校の県制度支給を加えた上限額は178,200円



2 私立高等学校の 入学金に対する補助金

世帯の年収が**590万円未満**の生徒に対し、一定額が補助されます。

学校制	補助額	入学金の平均額
全日制高校	50,000円	136,250円
通信制高校	23,000円	70,000円

1・2 補助の要件

補助対象 授業料及び入学金

対象者 高等学校等授業料軽減補助金及び入学補助金は生徒及び保護者等が岐阜県内に住所を有すること。保護者等の「課税所得」を基準として判定します。

対象学校 岐阜県内の私立高等学校(全日制・通信制)

申請方法等 入学時に学校から案内があります。学校に相談してください。

世帯年収の目安 【市町村民税の課税標準額×6%】

—【市町村民税の調整控除の額】が、

154,500円未満 → 年収590万円未満

304,200円未満 → 年収910万円未満

※世帯収入の判定は、家族構成によっても異なります。

手続きも含めて、詳細については各学校に問い合わせてください。

3 非課税世帯等の生徒には奨学給付金制度があります

教科書学用品等の授業料以外の教育費の負担を軽減するため、非課税世帯等の生徒に対し、県から奨学給付金が支給されます。

支給要件

- 保護者が岐阜県内に在住していること
- 就学支援金支給対象の高等学校に在学していること

条件によっては、
最大年間
152,000円が
助成されます。

	生活保護受給世帯	非課税世帯(第1子)	非課税世帯(第2子)*
全日制	52,600円	142,600円	152,000円
通信制		52,100円	

*非課税世帯(第2子)とは、当該高校生以外に、15歳(中学生を除く)以上23歳未満の扶養されている兄弟姉妹がいる世帯の場合をいいます。

他にも、各校独自の奨学金制度・特待生制度もあります。詳しくは各校のホームページをご覧ください。

就学支援金のお問い合わせ先

岐阜県庁 環境生活部 私学振興・青少年課 TEL 058-272-1111(内線3032~3035)

E-mail/c11151@pref.gifu.lg.jp <https://www.pref.gifu.lg.jp/page/2210.html>

『実際はどうなの？
私立高校って!?!』
私立高校生の
保護者の声

- 情熱的な先生が多く、生徒達も近い距離で接することができるのが嬉しい。
- 先生が親身になって、優しく、厳しく、真剣に向き合っていて最後まで面倒を見てくれる。
- 先生方の異動がなく、アットホームな雰囲気の中、温かく見守ってもらいながら過ごすことができる。
- 塾に通う必要がなく資格取得にも力を入れているため、進学の土台を作ってもらえることができる。

- 子どもの話を真剣に聞いてもらえ驚くほど勉強への姿勢が変わった。
- 面接や論文指導を徹底してやってもらえるので子どもが自信をもって就職試験に臨めた。
- 個々への進路指導や長期休業中の学習指導など熱心にしてもらった。
- 勉強も部活動も先生が必死になって子どもと向き合ってくれる。

- 大学受験のカリキュラムやサポート体制が充実していて塾に行くことなく大学進学できた。
- 先生方の異動がないため、卒業した後も相談に行くことができるのがうれしい。
- 少人数、習熟度別の授業や放課後の教室開放など、きめ細やかな受験指導がよかった。